

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習3C	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	金曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	岡本 和士		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、iPhone5のモデリング、レンダリングを行い、3D C A Dの基本操作を修得します。2Dの図面の作図から3Dのデータ制作に必要な技術と操作を理解します。、これから経験していく仕事の現場で、役に立つデジタル技術を学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「3Dソフト ライノセラス」に関連する操作を理解し、3Dデザインをする際に必要なスキルを積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、iPhone5のモデリング、レンダリングに取り組むことで3D C A Dを基本から学び、・2D作図・3Dモデリング3Dレンダリング操作の修得を目的としています。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要なデジタル技術や知識を向上させること、段階的に サイズ、カラー、素材 の選択、仕上げをデータ上で制作し、3Dのデザインデータ制作ができるようになることを目標にしている。					
dezainn					
授業概要	この授業では、講師からの3Dモデリングの制作技術の解説を受けます、iPhone5の2D作図と3Dモデリング、レンダリングの操作が出来る一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「3Dデジタルの技術」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「iPhone5の3Dデータ制作」を実践し、提案できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、基礎的な実習として、学生に3Dモデリングが出来る一連の流れを、実習を通して学びデジタルデータを作成します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	基礎モデリング①		導入 ライノセラス説明 データ管理について		
2回	基礎モデリング②		iPhone5 図面説明 基本操作		
3回	基礎モデリング③		iPhone5 2D作図 各使用ツール解説		
4回	基礎モデリング④		iPhone5 2D作図 各使用ツール解説		
5回	基礎モデリング⑤		iPhone5 2D作図 各使用ツール解説		
6回	基礎モデリング⑥		iPhone5 2D作図 各使用ツール解説		
7回	基礎モデリング⑦		iPhone5 2D作図 各使用ツール解説		
8回	基礎モデリング⑧		iPhone5 2D 図面完成 提出		
9回	基礎モデリング⑨		iPhone5 3D モデリング 各使用ツール解説		
10回	基礎モデリング⑩		iPhone5 3D モデリング 各使用ツール解説		
11回	基礎モデリング⑪		iPhone5 3D モデリング 各使用ツール解説		
12回	基礎モデリング⑫		iPhone5 3D レンダリング 各使用ツール解説		
13回	基礎モデリング⑬		iPhone5 3D レンダリング 各使用ツール解説		
14回	基礎モデリング⑭		iPhone5 3D モデル レンダリング完成 提出		
15回	基礎モデリング⑮		iPhone5 3D モデル レンダリング総評 未提出確認		